



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日 東

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所
 コード番号 9366 URL <http://www.srt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 田中 光晴 (TEL) 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,711	△10.5	324	34.3	252	70.0	48	△18.6
27年3月期第2四半期	8,617	10.6	241	51.3	148	116.4	60	355.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △58百万円(—%) 27年3月期第2四半期 31百万円(△82.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	8.16	—
27年3月期第2四半期	10.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	20,234	6,915	33.7	1,135.93
27年3月期	21,323	7,070	32.7	1,162.03

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,818百万円 27年3月期 6,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	△9.1	680	20.3	560	45.2	300	136.5	49.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	6,006,373株	27年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,910株	27年3月期	3,876株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	6,002,473株	27年3月期2Q	6,002,721株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済状況は、中国に端を発する株式市場の混乱や、個人消費の低迷など先行き不透明な状況が続きましたが、企業業績は好調に推移し、雇用・所得環境において改善がみられました。世界経済は、中国経済の減速により、新興国を中心に下振れリスクが強まったものの、全体としては緩やかな回復基調を維持いたしました。

物流業界におきましては、国内貨物は個人消費及び建設投資が伸び悩み、低調な荷動きとなりました。輸出貨物は中国向け貨物が減少したものの、アメリカ経済の回復により総じて堅調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当社は、電力変換装置及び無線通信機器の取扱額が増加いたしました。国際海上貨物における工作機械の取扱額が大幅に減少したことにより、売上高は減少いたしました。利益面におきましては、倉庫稼働率を高水準で維持できたことにより、倉庫事業部門の原価率が改善したことに加え、荷量変動時における人員の効率的配置に努めた結果、営業利益は増加いたしました。

国内連結子会社におきましては、商品販売業務の増加に加え、梱包業務における新規業務の開始により売上高は増加したものの、主要顧客における単価見直し等の影響により営業利益は減少いたしました。

中国連結子会社におきましては、当第2四半期までに発生した一連の子会社株式譲渡に係る割増退職金及び在庫処分等の費用が影響し、連結利益を引き下げる要因となりました。また、昨年より推し進めた事業再編がほぼ完了したことにより、通期連結売上高は減少することになりますが、赤字体質からの脱却が進み、通期連結利益への影響が大幅に改善することになります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高77億11百万円(前年同期比10.5%減)、営業利益3億24百万円(前年同期比34.3%増)、経常利益2億52百万円(前年同期比70.0%増)となりました。なお、中国華南地区の子会社2社の譲渡において関係会社株式売却損28百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

電力変換装置の取扱額が増加したものの、国際海上貨物における工作機械の取扱額の減少及び中国子会社譲渡の影響により売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高54億13百万円(前年同期比15.3%減)、セグメント利益4億25百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

② 運輸事業部門

無線通信機器の取扱額が増加したものの、医療機器関連の3PL分野の取扱額が減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高12億円(前年同期比2.8%減)、セグメント利益42百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

③ 倉庫事業部門

電力変換装置の取扱額が好調に推移したことに加え、倉庫稼働率を高水準で維持できたことにより、売上高及びセグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高9億50百万円(前年同期比15.7%増)、セグメント利益1億92百万円(前年同期比45.5%増)となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

本社ビルにおける不動産管理会社の契約を昨年6月に変更したことにより、売上高及びセグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高1億46百万円(前年同期比13.4%減)、セグメント利益61百万円(前年同期比25.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の財政状況は、総資産202億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億89百万円の減少となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、56億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億19百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少2億8百万円、受取手形及び売掛金の減少5億89百万円及び繰延税金資産の減少41百万円によるものであります。

固定資産につきましては、145億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億70百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少1億58百万円、リース資産の減少1億3百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の減少43百万円、繰延税金資産の増加17百万円等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、133億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億35百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、40億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億74百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少4億58百万円、短期借入金の減少1億19百万円等によるものであります。

固定負債につきましては、92億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億60百万円減少いたしました。これは主に、社債の減少56百万円、長期借入金の減少26百万円、リース債務の減少98百万円及び退職給付に係る負債の増加11百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、69億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の減少47百万円、その他有価証券評価差額金の減少32百万円及び為替換算調整勘定の減少79百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.7%から33.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績の差異につきましては、本日(平成27年10月30日)公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日公表の業績予想から変更はありません。

今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,477,329	2,268,431
受取手形及び売掛金	3,513,605	2,924,456
商品及び製品	17,559	17,020
原材料及び貯蔵品	122,496	126,243
繰延税金資産	164,796	123,175
その他	189,471	206,561
貸倒引当金	△6,500	△6,200
流動資産合計	6,478,757	5,659,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,274,765	8,115,985
機械装置及び運搬具(純額)	115,892	114,432
土地	2,308,754	2,308,754
リース資産(純額)	2,202,684	2,098,912
その他(純額)	35,199	34,619
有形固定資産合計	12,937,297	12,672,705
無形固定資産		
ソフトウェア	129,983	134,063
その他	6,212	6,566
無形固定資産合計	136,195	140,629
投資その他の資産		
投資有価証券	474,215	430,900
破産更生債権等	21,233	20,673
繰延税金資産	674,985	692,791
その他	617,734	633,399
貸倒引当金	△17,010	△16,700
投資その他の資産合計	1,771,158	1,761,064
固定資産合計	14,844,651	14,574,399
資産合計	21,323,409	20,234,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,123,703	664,765
短期借入金	1,995,482	1,875,528
1年内償還予定の社債	112,000	112,000
リース債務	198,218	197,394
未払法人税等	140,300	122,368
賞与引当金	310,270	309,993
その他	980,681	804,251
流動負債合計	4,860,656	4,086,300
固定負債		
社債	107,000	51,000
長期借入金	5,651,185	5,624,919
リース債務	2,103,514	2,005,229
退職給付に係る負債	739,598	751,091
資産除去債務	397,618	401,901
長期預り金	210,444	214,697
金利スワップ	183,307	183,054
固定負債合計	9,392,668	9,231,892
負債合計	14,253,325	13,318,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	1,944,555	1,897,475
自己株式	△3,181	△3,200
株主資本合計	6,906,368	6,859,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,831	159,348
繰延ヘッジ損益	△124,099	△124,110
為替換算調整勘定	50,896	△28,963
退職給付に係る調整累計額	△49,894	△47,184
その他の包括利益累計額合計	68,733	△40,910
非支配株主持分	94,981	97,535
純資産合計	7,070,083	6,915,894
負債純資産合計	21,323,409	20,234,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,617,948	7,711,639
売上原価	7,154,827	6,238,712
売上総利益	1,463,120	1,472,926
販売費及び一般管理費		
販売費	619,282	563,050
一般管理費	602,530	585,769
販売費及び一般管理費合計	1,221,812	1,148,819
営業利益	241,308	324,107
営業外収益		
受取利息	1,731	1,169
受取配当金	4,497	6,018
受取保険金	3,843	4,586
その他	3,196	1,892
営業外収益合計	13,269	13,666
営業外費用		
支払利息	99,038	84,960
その他	7,097	411
営業外費用合計	106,135	85,372
経常利益	148,441	252,401
特別利益		
固定資産売却益	147	903
特別利益合計	147	903
特別損失		
関係会社株式売却損	—	28,507
特別損失合計	—	28,507
税金等調整前四半期純利益	148,588	224,797
法人税、住民税及び事業税	37,930	132,000
法人税等調整額	46,176	42,176
法人税等合計	84,107	174,176
四半期純利益	64,481	50,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,299	1,661
親会社株主に帰属する四半期純利益	60,182	48,959

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	64,481	50,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,318	△31,590
繰延ヘッジ損益	△12,678	△11
為替換算調整勘定	△15,990	△79,859
退職給付に係る調整額	3,464	2,709
その他の包括利益合計	△32,523	△108,752
四半期包括利益	31,958	△58,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,335	△60,684
非支配株主に係る四半期包括利益	4,622	2,553

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,391,703	1,235,469	821,550	169,224	8,617,948	8,617,948
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	776	—	—	776	776
計	6,391,703	1,236,245	821,550	169,224	8,618,724	8,618,724
セグメント利益	386,932	37,876	132,172	82,488	639,469	639,469

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	639,469
セグメント間取引消去	285
全社費用(注)	△398,447
四半期連結損益計算書の営業利益	241,308

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,413,897	1,200,587	950,557	146,597	7,711,639	7,711,639
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,810	1,533	3	—	5,346	5,346
計	5,417,707	1,202,120	950,560	146,597	7,716,985	7,716,985
セグメント利益	425,513	42,815	192,341	61,665	722,335	722,335

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	722,335
セグメント間取引消去	401
全社費用(注)	△398,629
四半期連結損益計算書の営業利益	324,107

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。